

関西芸術座 公演No. 101

作／駒来 慎  
演出／門田 裕

# 戦う家一揆。

～私の選挙戦日誌～



## 上演にあたって

関西芸術座は、1957年に創立しました。

大阪の地で50年以上にわたり演劇活動を続けてきました。

自前の作品(創作劇)を中心に、幅広い年齢層の方々に舞台を観て頂いており、特に創立以来、青少年を対象とした学校公演を途切れることなく続けています。

子どもたちには、豊かな感性を持ってほしい。生の舞台に触れる機会の少ない子どもたちには、せめて学校で芝居を観てほしい…と願っています。

授業時間の確保の為、鑑賞行事の廃止や少子化による予算の低下など、芝居を見る機会がなくなっています。芝居を観ることで、新たな人生観を持ったり、自分を見つめ直したり、いろいろな事を考えるきっかけができると思います。

「戦う家族～私の選挙戦日誌」では、17歳の女子高生の視点で、選挙権の大切さと、家族の絆の大切さをお伝えできればと思っております。

演劇鑑賞で何かを感じ取り、考えて頂く機会になることを祈り、芝居って面白い!と感じて下さることを切に願っています。

## スタッフ

作……………駒来 慎  
演出……………門田 裕  
装 置……………加藤 登美子  
照 明……………福井 邦夫  
音 楽……………ノノヤマ マナコ  
音 韶……………廣瀬 義昭  
振 付……………Kayeon  
舞台監督……………辻村 孝厚

宣伝イラスト………21201  
広報撮影……………川崎 真美  
                          糸永 篤  
宣伝美術……………恒川 愛子  
選挙制度監修……………小林 みちこ

制 作……………鞠 マユミ



## 開票結果を待つ候補者のような心境で

駒来 慎 (作)

2013年2月20日、ある現役市会議員の方に「取材のお願い」という件名でメールを送った。そのかたとはなんの面識もないし、紹介があったわけでもない。この作品上で選挙に立候補とした役に、境遇が似ているというだけで依頼してみようと思ったのだ。翌21日、なんと「OK」の返信をいただいた。こんな簡単にことが進んでいいのかしらと思いながら、その瞬間にこの作品は動き出した。

お会いしてお話を伺うと、驚きと感心の連続だった。言葉は悪いが、選挙戦は面白いのだ。約束の時間をオーバーした取材が終わり、これはエンタテインメントになると確信した。

ジェームス・ボンドやマクレーン刑事は決して死ないと分かっている観客を、それでも最後まで引っ張っていくようなエンタテインメントをいつか書きたいと思っていた。これはそのチャンスだ。ぼくの頭の中で登場人物たちが次々と動き出しえていき、そしてこの作品は生まれたのだ。

ついに、ネット選挙が解禁された。さらに改良されていくと、今後は若い世代の選挙への関心が変化していくのは間違いない。そんな大きな転換期に、この作品を創れたことは喜びに堪えない。その機会を与えてくれた関西芸術座にまず感謝します。そして取材、その後も適切なアドバイスを下さった小林みちこさんには深くお礼を述べたい。最後に、この作品を観て下さるあなたにも。

ありがとうございます。

## 選ばれようとする人、そして選ぼうとする人

門田 裕 (演出)

中学の時、同じクラスの男子が次の生徒会長に立候補すると言いました。別に彼とは親しい中ではなかったが真面目な生徒ではあった。しかし、みんなから人望を集めると生徒ではなかったようだし、先頭を切って進んで行くというタイプでもなかったように記憶している。彼が生徒会長になったかどうかは残念なことに憶えていないのだが、真面目な奴だからと一票入れた記憶はある。いい加減に投票したのかもしれない。

大人になって、と言うより二十歳になって選挙権を得た。以来今まで選挙の投票日には必ず投票をしている。しかし自分は果たしてこの選挙権という大切な権利をしっかりと行使しているのだろうかと感じる時もある。

選挙で選ばれようとする人は当然のことだが、私利私欲なく社会に対しての矛盾点、或いは不条理に感じている所を正そう、直そうとして行動する。また選ぼうとする人も当然私利私欲なく、矛盾、不条理が一致したと感じるそな人に投票する。

選挙というのは、選ぼうとする人、選ばれようとする人、この双方の真の一致点を見出した時に成立するのではないか。この舞台を通じて若い人たちと共に考えていきたいと思う。

それにしても中学のあの時、生徒会長に立候補しようとした彼は、一体どういう思いで決意したのだろうか。今思えばその真意をもっと聞き出していれば良かった、と今少し後悔している。

## ものがたり

私、小浜愛夏、高校2年生。

家族はお父さんとお母さんと妹の四人暮らし。

毎日、平凡でも、大好きな家族と笑っていられたらそれで幸せだったのに…

お母さんつたら!本気のホンキで、市議会議員に立候補するの!?

うちには、お金もコネ(?)もな~んにも無いのに、当選なんて出来るの??

いつたといこれからどうなつちやうの?私の家族…

中学生の時にいじめにあい、以来目立たないようになってきた高校生の愛夏。

ある朝、妹の学友が通学路であやうく交通事故にまきこまれそうになる。

愛夏の母は有力市議会議員に陳情するが一向に法規制は進まない。業を煮やした母は、自ら議員に立候補すると言い出した。

反対する会社員の父、いじめの再来に怯える愛夏。

しかし母の搖るぎない情熱は人々を動かしていく。やがて、愛夏の心にも変化が…。

家族の勝算なき戦いの日々。

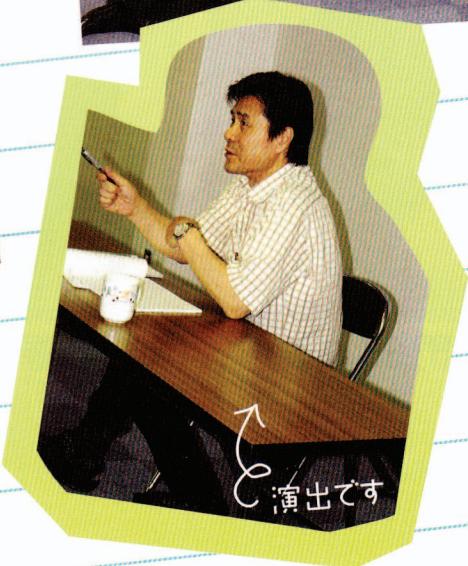
いつしかそれは、愛夏自身の戦いとなっていました…!



My family



09



## キャスト

こはま まなか  
**小浜 愛夏**

高校2年生



橘 愛実

こはま しづか  
**小浜 静香**

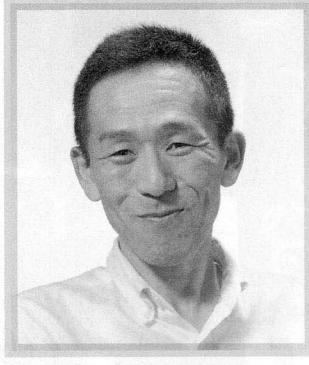
愛夏のお母さん



梅田 千絵

こはま のぶた  
**小浜 伸太**

愛夏のお父さん



藤吉 雅人

こはま まふゆ  
**小浜 舞冬**

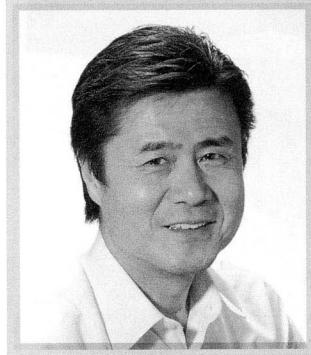
愛夏の妹・中学3年生



雨宮 良子

でいりざき すすむ  
**出入崎 進**

市議会議員



門田 裕

でいりざき あきら  
**出入崎 明**

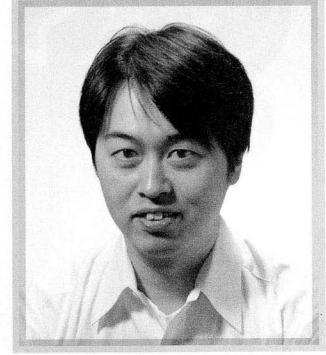
進の息子・府議会議員



福寿 淳



森本 竜一



松本 幸司

尹 一勉  
ゆん いるめん

在日韓国人



宮島 玄

我孫子 潤  
あびこ じゅん

愛夏のクラスメイト



奥村 まこと

敦賀 厚美  
つるが あつみ

静香のママ友



川上 律美



鴻池 央子

今庄 つぐみ  
いまじょう つぐみ

静香のママ友



岩村 春花

三方 知世  
みかた ともよ

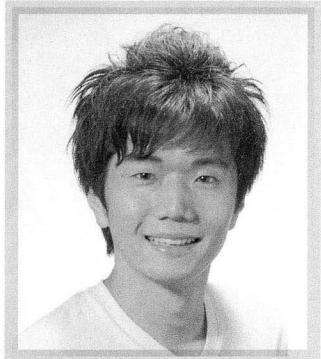
選挙スタッフ・フリーター



川瀬 真理

武生 涼  
たけふ れん

新聞記者



永井 敦子

山本 峻也

# 関西芸術座

〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-4  
(TEL) 06-6539-1055 (FAX) 06-6539-1056  
<http://kangei.main.jp/>

---

## 関西芸術座附属演劇研究所 研究生募集

- 本科…1年（夜間）4月開講 <オーディション…毎年3月>  
毎年12月に願書ができますので、劇団までお問い合わせ下さい。